

※発汗の抑制持続効果に優れた制汗剤

Perspirex（パースピレックス）

— Perspirex の処方では、使用ごとに **65%の発汗抑制が 72 時間以上持続**することが実証されています—



ロールオン（腋用）



ローション（手足用）

Perspirexは、1回の使用により

- ① **ロールオンタイプ（腋用）** で3～5日、
- ② **ローションタイプ（手足用）** で3日以上、汗と臭いを予防します。

また、Perspirex は**皮膚のかぶれ**のリスクを軽減する**乳酸成分**を含有しています。乳酸が不快感をもたらす酸を無害な乳酸に変換する「**緩衝剤**」として作用します。特に腋用のロールオンタイプは、皮膚刺激（かぶれ等）の原因となる **pH 値低下**を**抑える作用**に優れており、「**敏感肌**」の方にも適しています。

Perspirexの作用機序



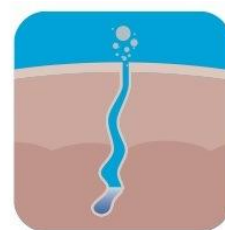
Perspirex はアルコールベースの塩化アルミニウムおよび乳酸成分による溶液であり、非常に効果的に作用する。



溶液が汗腺内の水と反応し・・・



腺内深部に角栓を形成し、汗の産生を一時的に中断させる。



角質（死んだ皮膚細胞）の剥離に伴って、角栓は数日で自然に排出される。

最善の結果を得る（例：そう痒を抑制する）ための使用方法

- 夜間は汗腺の活動が低下するため、夜の就寝前にPerspirexを塗布します。望まれる効果が得られるまで（通常1週間以内）Perspirexを毎晩使用します。敏感肌の場合は、1日おきに2週間塗布します。
- 完全に乾燥した損傷のない皮膚に使用し、使用後はPerspirex が完全に乾いてから衣類を着用します。必要な場合は、Perspirexを使用する前に扇風機またはヘアードライヤーで皮膚を乾かします。
- 翌朝、石鹸と水で洗い流します。塗り直しはしないでください。
- ロールオンタイプ（腋用）で週1～2回、ローションタイプ（手足用）で週2～3回使用し、汗と臭いのコントロールを維持します。
- 必ず、完全に乾燥した損傷のない皮膚に使用してください。
- 脱毛後48時間は使用しないでください。